

学校長より

新年度のご挨拶



黒瀬高校に日頃から様々なご協力をいただいております地域の皆様、また、黒瀬高校に興味のある小学生・中学生とその保護者の皆様、今年度最初の「黒高だより」をお届けします。

私はこの度の人事異動で着任した校長の馬屋原幸孝(うまやはら よしたか)と申します。私を含め8人の者が新たに着任し、教職員計43人でスタートしました。

今年度黒瀬高校の生徒数は1学年3クラスずつで計 294人(4月19日 現在)となっています。その内訳は普通科 228人、福祉科 66人です。昨年度の卒業生は 88人で、進学も就職もほぼ100%決定しています。

本校の校訓は「挑戦 継続 飛躍」となっていますが、今年度からのキャッチフレーズを”夢への挑戦は「学び」の継続から”とし、「学び」を継続していくことはもちろん、生徒一人一人の「学び」をつないだり、深めたりしていきたいと考えています。

何が起るか予測のつかない時代の中で、黒瀬高校を卒業した生徒が、地域や広島県はもとよりグローバルに活躍している姿を想像しながら教育活動を進めていきたいと考えております。

その活動は、黒瀬高校のホームページに随時掲載していますので、ご覧ください。とりわけホームページの「黒高NOW」はほぼ毎日更新しています。次回の黒高だよりでは、その活動を詳しくお知らせしたいと思います。

校長 馬屋原 幸孝

第46回 入学式

日時 平成28年4月6日(水)

満開の桜が咲き誇る中、入学式が挙行され、普通科80名、福祉科19名、計99名の入学が許可されました。新入生は緊張した面持ちで、期待と不安が入り混じった様子でした。担任の先生の呼名に対し元気よく返事をし、これから黒瀬高校で頑張っていこうという意気込みが感じられました。新入生代表の宣誓は福祉科の井上楓香さんが、決意の言葉を述べました。入学おめでとうございます。



入学を祝う満開の桜



1組入場



2組呼名



新入生代表宣誓 3組 井上 楓香



養訓太鼓 祝賀演奏

東広島市・黒瀬高等学校・広島国際大学連携協定締結式、東広島市福祉講演会

日時 平成28年3月23日(水)
場所 東広島市黒瀬生涯学習センター

東広島市・黒瀬高等学校・広島国際大学による連携協定締結式が行われました。

東広島市は住民福祉の向上に力を入れ、子どもから高齢者、障害者など、さまざまな人の幸せに資する事業を進めています。本校は広島国際大学との連携を進め、知の活用によって地域の活性化に繋げることを推進しています。

この式では、福祉科の3年生の松岡菜々さん・穂津田有紗さんが黒瀬高等学校生徒代表の挨拶を務めました。何度も練習を重ね、本番では大勢の方々の前で自信を持って堂々と挨拶をしていました。また、和太鼓部もこの調印式のために広島国際大学との合同練習を行ってきました。とても迫力のある演奏で、会場におられる方々の胸に響いていました。

福祉・介護人材の養成を進め、地域の福祉向上に努めていきたいと思っております。



東広島市長、広島国際大学長と締結式



生徒代表挨拶 3年3組 松岡菜々
手話通訳 3年3組穂津田有紗

離任式

日時 平成28年3月28日(月)

教職員人事異動により、5名の先生方が離任されました。先生方は、黒瀬高校のためにご尽力され、大変お世話になりました。式には多くの卒業生や保護者の方も来られ、別れを惜しみました。先生方が黒瀬高校から離れ、寂しい限りですが、先生方の想いを引き継げるよう頑張ります。本当にありがとうございました。

ご健康とご活躍をお祈りしています。



離任される5名の先生方に生徒会から花束贈呈



離任された先生方

- 田中 清裕 校長
- 小西 大輔 教諭
- 山中 真悟 教諭
- 金子 拓二 教諭
- 松田 寛子 実習教諭



福祉科より

★3年生救命講習

平成28年 3月15日(火)

東広島市消防局東広島市消防署南分署の救急救命士の方々から心肺蘇生法(人工呼吸法、心臓マッサージ、AED)や気管異物除去法など、実技指導を中心に教えて頂きました。今回は、校内でAEDが設置されている事務所まで生徒が実際に取りに行き、AEDを使うまでの流れを確認しました。救命処置の重要性を学び、適切な方法を身に付けることができ、講習後には「普通救命講習修了証」をいただきました。またこの講習は、介護福祉士類型の、介護福祉士養成課程における「医療的ケア」の必修科目の1つである「救急蘇生演習」に相当します。



【生徒の感想】

心肺蘇生では、最初に倒れている人を確認して安全確認をし、「大丈夫ですか」と3回呼びかけ呼吸確認・胸骨圧迫・人工呼吸という順に対応していくことを学びました。胸骨圧迫をする際には、「強く・速く・絶え間なく」の3つの事を忘れずに行うことで命が助かる確率が高くなることも分かりました。今回の救命講習を無駄にしないよう、復習していきたいです。
(3年3組 大胡 香奈枝)

心臓マッサージを体験する生徒

★第2回ひろしまケアコンテスト

平成28年3月19日(土) 広島産業会館 西展示館

介護現場で働かれている職員の方による介護技術を競う「ひろしまケアコンテスト」を、3年生福祉科の生徒が見に行きました。「食事」「排泄」「入浴」の部門で、制限時間内に利用者の方にあった適切なケアを競うものです。評価のポイントは、コミュニケーションのとり方、安全なケアが行われたか、また、自立につながるような支援であったか等、大学や専門学校の先生が審査員として厳しく評価されていました。今回のケアコンテストで学んだ介護において大事なポイントを今後に生かしていきます。

【生徒の感想】

コンテストを実際に見て、ケアを見る側だと「ここはこうの方がいいな」「ここは危険だな」と学校で習った授業や施設実習で学んだことを考えながら見ることができました。実践された後に、ケアの中で工夫されたポイントを言われており、自分が考えもしなかったこともあり、色々な視点で自分自身考えることができました。今後の実習などにも生かしていきたいです。

(3年3組 小石 琴音)

食事介助のケアでは利用者の方にご自分で召し上がって頂くだけではなく、食事の机につくまでどれだけの自立支援ができるかということも大切なことだと学びました。利用者の方の尊厳や自立を考えケアを行うという職員の方もいれば、安全で安心の介護をという職員の方もおられ介護は奥が深いと感じました。今回のケアコンテストで色々な職員の方の良い部分を見て吸収することができ良かったです。

(3年3組 山本 千尋)

1学期の主な行事

5月 1日(日)・2日(月)	1年チャレンジ合宿、2・3年遠足(2日)
5月11日(水)	中間考査発表
5月13日(金)	PTA総会代休
5月14日(土)	PTA総会・授業参観・3年(介)介護実習 結団式 1-3類型選択保護者説明会
5月16日(月)~6月22日(水)	3年介護福祉士類型介護実習
5月18日(水)~23日(月)	中間考査
5月23日(月)	クリーンアップ
5月24日(火)	県総体壮行式
5月25日(水)	地域清掃(1年)
5月27日(金)~29日(日)	県総体
6月 4日(土)~5(日)	
6月 1日(水)	P T A 挨拶運動
6月 1日(水)	生徒総会
6月10日(金)~11日(土)	文化祭
6月13日(月)	文化祭代休
6月15日(水)	全校集会
6月15日(水)	進路説明会(3年)(兼PTA研修会)
6月21日(火)	期末考査発表
6月22日(水)	進路説明会(2年)
6月28日(火)~7月 4日(月)	期末考査
7月 4日(月)	生徒会立会演説・選挙
7月 6日(水)	2年面接検定
7月13日(水)	クラスマッチ
7月20日(水)	クリーンアップ・1学期終業式

クラス担任紹介

学年	主任	区分	1年1組	1年2組	1年3組
1学年	増田	正	中島	宮田	渡邊
		副	三村、藤原	久保、石井	武智、角田
2学年	吉行	区分	2年1組	2年2組	2年3組
		正	太田	森	池上
3学年	浅藤	副	武知、大林	長井、伊藤	重本、大石
		主任	区分	3年1組	3年2組
		正	濱生	寺下	黒瀬
		副	神笠、梶本	峠、笹方	段、安吉

地区総体報告(速報!) ※4月25日現在

卓球部

男子団体 ベスト4

ダブルス(男子) 北木・蔵田ペア ベスト4
 ダブルス(女子) 山口・楠岡ペア ベスト8
 シングルス(男子) 北木開人・蔵田竜大・住吉春弥
 ベスト4

陸上部

鳥島ゆかり 砲丸投げ 1位・円盤投げ 3位

4×100mリレー 第4位
 中谷遥佳 浜田彩茄 江本 歩 鳥島ゆかり

県体出場!!

4×400mリレー 第4位
 浜田彩茄 江本 歩 前田由莉奈 中谷遥佳

ソフトテニス部

女子団体 第6位

部活動等顧問紹介

硬式野球	浅藤、濱生、梶本、久保、笹方	レスリング	三村、武智、角田
陸上競技	石井、大林、渡邊	卓球	増田、伊藤
サッカー	中島、峠、段	放送	峠、笹方、濱生、浅藤、重本
ソフトテニス	黒瀬、重本、寺下	美術	梶本、増田、安吉、三村
バスケットボール	武知、長井、宮田	書道	大林、武智、黒瀬、吉行
バレーボール	神笠、安吉、大石	和太鼓	藤原、大石、武知、宮田、渡邊
バドミントン	太田、森、藤原	調理	池上、段、角田、神笠、中島
剣道	吉行、池上	茶華道	寺下、森、太田
黒高レンジャー	伊藤、石井、梶本、渡邊、大林、久保、長井、武智、角田		

総務部より

学校便りを毎月1回(8月を除く)発行しております。生徒達が様々な場面で活躍している姿や、学校の様子などをお知らせしております。掲載記事にご希望がございましたら、総務部宛にお知らせ願います。